

告発する

アメリカの戦争犯罪を

ベトナム黒書

アメリカの戦争犯罪を告発する

ベトナム黒書

日本アジア・アフリカ連帯委員会編

労働旬報社

序文

1

ベトナム戦争は、いよいよ重大な段階にすすんできた。戦争が南ベトナムから北ベトナムへ「拡大」(エスカレート)していく過程で、アメリカ帝国主義とグエン・カオ・キ||カイライ政権、ならびにアメリカの衛星国が、いかに国際協定を無視し、人道上ゆるすことのできない戦争犯罪を重ねているか。そこでは、ナパーム弾と黄燐弾は、被爆者が泡のかたまりになるまで燃えつづける。それでもまだ従来 of ナパーム弾では、ジャングルを焼きつくすことができないといって、さらに熱度の高い、新しいナパーム弾をつくっている。

南ベトナムの母と子どもが被爆したとき、母は力をふるってそれを払いのけても、子供の腕にナパームの破片が附着して燃えつづけている。痛さに泣き叫ぶ子の腕から、それを払い

すてようとする、子供の皮膚が、メラメラとむけて、バッタリと倒れて死んでしまう。パイナップル弾、グローバ弾、ベトナムの人たちのいうクワ・オウイ弾（オウイという果物の形をしたもの）、これらの親子爆弾は搾裂すると、二、三〇〇個のボールが飛び散って、鋼鉄の破片が人間の肉体に突きささってとりだせない。

本書に収めたバートランド・ラッセル卿の「アメリカの良心にたいするアピール」でも、「北ベトナムのいちばん人口の密集した一つの州に十三ヵ月の間に一億片のかみそりのように鋭利な鋼鉄片が落された」といつている。安全かみそりの一枚の刃の始末にさえ、わたしたちは氣を使うのだが、戦闘に直接関係のない老人や婦人や子供の肉体をこまかく切りきざんでいく、この悪魔の爪の横行を黙認していいであろうか。

これもまた、本書に収めた南ベトナムの「戦犯黒書」によると、アメリカがつかっている化学毒薬DNCは、オレンジ色をして、火薬のにおいをふりまきながら空から降ってくるが、これを身体にうけると、母体は乳の出がとまり、妊娠中の婦人は流産するという。さらに、南ベトナムで機動細菌化学戦争をたくらんでいる研究班は、日本の神奈川県から移動したものである、と指摘されている。わたしたちは南ベトナム、北ベトナムがアメリカ侵略軍の殺人的な新兵器のほしいままな実験場にされていることにたいして、心からの憤激を抑えることができない。まさに、ヒトラー以上の「現代最大の戦争犯罪」の地獄絵がくりひろげられているのである。ベトナム戦争をこの深部でとらえることが必要である。

しかも、ベトナム人民は、かつてそうであつたように、いまも完全に一体となつて、残忍非道な侵略者にたいして、英雄的なたたかひをつづけ、困難をのりこえて勝利している。ベトナム人民の決戦決勝のこのエネルギーは、どこからでくるのであらうか。この根源にふれることなしには、ベトナム戦争の本質と性格を理解できないし、ベトナム人民への支援、連帯の任務も十分に果せないであらう。ベトナム人民のたたかひを内面から支えているものと、いまわたしたちが日本でアメリカ帝国主義およびこれに従属する佐藤政府にたいしてたたかっている立場とは、けつして無縁でない。無縁でないどころか、心からの共感と共鳴のなかで、共通のたたかひとともに勝ちぬこうとしているのである。

日本の労働者が一〇月二一日を期し、ストライキ、まさに生産点での行動をもつて、「現代最大の戦争犯罪者」と対決しようとしているのもそのためである。全国各地の職場、学校、地域などで、いっせいにすすめられているこれらの行動の波の高まりのなかでこそ、わたしたちはベトナム戦争の本質をはっきりと身をもつてつかむことができるのである。

ハノイ、ハイフォン爆撃直後、七月一七日のアピールで、ホー・チミン主席は「戦争がさらに五年、十年、二十年、いやそれ以上つづこうとも、ハノイ、ハイフォンその他の都市や企業が破壊されようとも、ベトナム人民はびくともしない」と述べている。これは決して単なる強がりではない。かつて、フランス植民地主義者とたたかつて勝ち、日本ファシズムとたたかつて勝ち、いまアメリカ帝国主義とたたかつて勝ちつつあるベトナム人民は、たたか

いのなかでできたえられた強い信念と、行動力と政治意識を身につけている。

正しい目標をかかげ、正しい指導のもとに、一致団結してたたかえば、アメリカ帝国主義とそのカイライ政権に断じてうち勝つことができる、というのがベトナム人民のゆるぎない立場である。

「ベトナム人民は平和を愛する。この平和は真の平和、つまり独立と自由のもとの平和であって、ごまかしの平和、アメリカがいつているような平和ではない」(七・一七アビル)。

わたしたちは、アメリカ帝国主義者の血にうえた黒い魔の手が、いかにベトナムで独立と自由を侵害し、非人道的きわまる手段で残虐行為をとりつづけているかの実態をあますところなくあばき、これとたたかっている英雄的なベトナム人民の立場に共感するとともに、行動をもって支援、連帯する運動をさらに拡大し、強化しなければならない。この本がそういうたたかいの武器として、行動の一つの指針として、ひろく活用されることを期待してやまない。

さいごに、本書の編訳・刊行にあたって、多忙のなかを執筆と翻訳その他で積極的に協力されたその他労働旬報社の皆さんに心から謝意を表する次第である。

一九六六年九月二七日

日本アジア・アフリカ連帯委員会

■世界の良心に訴える

自由と社会正義の名において告発する

バートランド・ラッセル

一〇

全世界の良心は戦争犯罪を裁かねばならない

平野義太郎

二四

アメリカ戦争犯罪人の刑事責任

ド・ファン・サン

二九

戦争犯罪法廷に関する討議のための提案

ラルフ・ヒューマン

三四

■現代最大の戦争犯罪人

——南ベトナムにおけるアメリカの戦争犯罪に関する黒書

解説

南ベトナム解放民族戦線の「アメリカ帝国主義とその手先きの南ベトナムにおける戦争犯罪を告発する委員会」

三六

第一部 南ベトナムにおけるアメリカ帝国主義者の侵略犯罪

四〇

第二部 南ベトナムにおけるアメリカ帝国主義者の戦争犯罪

四六

第三部 戦争犯罪者は相応の処罰をうけなければならない

五二

北ベトナムにおけるアメリカの戦争犯罪

五五

ベトナム民主共和国外務省

ベトナム戦争と解放の思想

二二

アメリカの人道と国際法を蹂躪する戦争犯罪

三七

写真提供——平野義太郎・尾崎 隆

世界の良心に訴える



バートランド・ラッセル

私はアメリカ市民であるあなた方に対し、自由と社会正義に関心をいさく一人としてアピールします。

あなた方の多くは、あなた方の国が、これらの理想に貢献したことを考えているでしょう。たしかに合衆国は革命的伝統をもっています。そしてそれは、はじめは人間の自由と社会的平等のためのたかいに忠実でした。この伝統こそ、今日合衆国を支配している少数者によって傷つけられているのです。

あなた方の多くは、あなた方の国が、世界のあらゆる部分にわたる巨大な経済的所有物にその力を依拠している産業資本家たちによって、どれほど強く支配せられているかということについて、完全には気がついていないかもしれません。今日合衆国は世界人口の僅か六％にすぎないのに、世界の自然資源の六〇％以上を支配しております。広大な地表の鉱物や産物は、一握りの人々によって所有されています。

私はあなた方が、自らの指導者の発言に考慮を払うよう要望します。これらの人々は時々彼らが行なった搾取を暴露するものです。

一九五〇年二月一二日のニューヨーク・タイムスは次のようにいっています。

「インドシナは大きなギャンブルに値する価値がある。北部には輸出できるほどの錫、タングステン、マンガン、石炭、木材、米、ゴム、茶、香料、皮革がある。第二次大戦前でさえインドシナは毎年三億ドルと評価される配当を生んでいた」

自由と社会正義の名において
告発する

それから一年後に合衆国國務省の一顧問は次のように述べました。

「われわれは東南アジアの資源をほんの一部分搾取したにすぎない。それでも東南アジアは世界の生ゴムの九〇%、六〇%の錫、八〇%のコプラとココナツト油を供給した。そこには相当な量の砂糖、茶、コーヒー、タバコ、シサル、果物、香料、天然樹脂及びゴム、石油、鉄鉱石、ならびにボーキサイトを保有している」

さらに一九五三年、またフランスがアメリカの後押しでベトナムで戦っていた頃、アイゼンハワー大統領は次のように述べました。

「もしわれわれがインドシナを喪失したとしよう。もしインドシナが行ってしまえば、われわれがかくも高く評価している錫やタングステンは来なくなります。われわれは何か恐るべきこと——われわれがインドシナ地域や東南アジアの富から欲しいものを獲得する能力の喪失という——が惹起するのを防止するために一番安上りの方法をとっているのです。」

このことから、ベトナムでの戦争は、ドイツ人が東ヨーロッパで行なった戦争に似たものであることが明らかとなります。それはアメリカの資本家たちが、この地方の富を継続して支配するのを保護するためにしくまれた戦争です。軍備に支出される気まぐれな金額は、武器を要求している將軍たちが重役として席を占めている企業との間の請負契約に対して与えられていることを考えてみると、軍部と大企業とは彼ら自身の儲けのために緊密な同

盟を作っていることが判明します。

真実は、ベトナム民衆の抵抗は、ちょうど一八世紀にアメリカ植民地の経済的、政治的生活を支配していたイギリスに対するアメリカ革命の抵抗とよく似ています。ベトナム人民の抵抗は、フランスのマキ団の抵抗、ユーゴスラビアのバルチザンや、ナチの占領に対するノルウェイやデンマークのゲリラと同様です。このことが、あの小さな農民たちが地球上最も強力な工業国家の龐大な軍隊を支え止めている理由であります。

私はあなた方が、ベトナム人民に対し合衆国政府によってどのようなことがなされたかを考えてみるよう要望します。

あなた方はその心の中で、有毒化学薬品やガスの使用を、ジュライガソリンや燐による全国土の集中爆撃を正当化することができますか。アメリカの出版物はこのことについてうそをついています。これらのガスや化学薬品の性質に関する記録上の証拠は圧倒的です。それは有毒で致命的なものです。ナパームと燐は犠牲者が泡のかたまりになってしまいうまで燃えつづけます。

合衆国はまたレイジイ・ドグのような武器を使用しています。これは一万枚の剃刀のように鋭利な鋼鉄片をつめた爆弾で、村人に対してこれらのまったく厄介な武器が絶えず使用され、これらの剃刀の投げ槍が村人の身を細かく切りきざむのです。北ベトナムの一番人口の密集した一つの州に十三ヶ月の間に一億片の剃刀のように鋭利な鋼鉄片が落されま

した。

さらにもっと驚くべく恐るべきことには、一九五四年から一九六〇年迄のゴ・ジェン・ジエムの時代の死んだ者の数は、南部でアメリカの占領に対して武装抵抗を敢行した一九六〇年以後の死者の数よりも多いという事実です。

新聞が「ベトコン」と呼んでいるのは、ヨーロッパの人民戦線のように、カソリック教徒から共産主義者に至るまでの、あらゆる政治的見解を包含している広汎な同盟です。この民族解放戦線は、民衆から最も熱烈な支持をうけており、故意に目を閉じている人々だけがこのことを見ることができないのです。

あなた方は八百万のベトナム人民が有刺鉄線と武装パトロールによる強制労働下に、収容所に入れられていることを知っていますか。またこれらのことが、合衆国政府の指図によつてなされたものであり、拷問と虐殺がこれらのキャンプでの生活の日常的特徴になっていることを知っていますか。さらにベトナムで五年間にわたつて使用された、盲目、麻痺、窒息のためのガスや化学薬品が、けいれんをひき起し、耐え難い死をもたらすことを知っていますか。

もし、敵が合衆国を爆撃し、十二年間も占領するとした場合、それが何を意味するかを想像してごらんさない。もし外国の勢力がニューヨーク、シカゴ、ロサンゼルス、セントルイス、サンフランシスコ、マイアミなどを、ジュライガソリンや燐やレイジ・イドグで

集中したとしたら、あなた方はどんな感じがするでしょう。もし占領軍が入っていったあらゆる町や村に、これらの毒ガスや化学薬品を使用したとすれば、あなた方はどうしますか。あなた方はアメリカ人がそのような野蛮な侵略者を歓迎するだろうと本当に思いますか。

実際のところ世界のあらゆる所で、人々は、合衆国政府を支配している連中というのは、自分自身の経済的利益のため行動し、そしてこの直接の搾取と侵略に反対してたたかうという大それた者どもを皆殺しにしようとしている残忍な無頼漢であると考えているようになってきています。

合衆国がベトナム人民に対するフランスによる戦争の戦費の全部をまかした後、自らの戦争をベトナム人民に対して開始した当時には、合衆国防省は一六億ドル相当の資産を所有していました。それ以来この価値は倍加しました。合衆国防省は世界最大の組織であり、合衆国内に三、二〇〇万エーカーの土地を所有し、かつ諸外国に何百万エーカーの土地を所有しています。

現在までに毎年一〇〇セント中七五セント以上が現在の戦争と将来の戦争の準備に費消されています。何千万ドルという金が合衆国軍部のポケットに入れられており、それによってペンタゴンに、アメリカ人の生活のあらゆる面にまで影響を及ぼすような経済的力を与えております。合衆国内の軍の資産は、USスチール会社とメトロポリタン生命保険会社とアメリカ電話電信会社とジェネラルモーターズ及びスタンダード石油会社の資産の

合計の三倍に上ります。国防省はこれらの巨大な世界的大会社の全部で働いている人数の三倍の人数を雇っています。一九六〇年に二億一千万ドルが軍用資材に費消されましたが、この巨大な額の中、七、五〇〇万ドルが一〇の会社に分配せられ、五の会社は各約一千万ドル宛を受取りました。

私はあなた方がこれらの会社の執行部門に二六一名の将軍と司令官級を含む一、四〇〇名の将校が居るという事実について注意深く考慮されるよう要望します。ジェネラル・ダイナミック社は一八七名の将校二七名の将軍と提督及びもと陸軍長官をその給料支払簿にもっています。

これらは、誰が名目上の公的地位に選ばれようと関せず、権力を握っている支配層であって、すべての大統領もこの全能のグループの利益のため奉仕することを余儀なくされているのです。

このようにしてアメリカン・デモクラシーは、その生命と意味が空っぽになってしまいました。なぜなら人民は彼らを真に支配する人々をやめさせることができないからです。

このような権力の集中があるからこそ、ペンタゴンと巨大産業にとって、自分自身の利益のために軍備の競争を継続する必要があるのです。

彼らが中小産業や戦争請負契約者たちに与える下請契約は、アメリカのあらゆる町々を含み、したがって何百万人の人々の仕事に影響を及ぼしております。四百万人が国防省の

ために働いており、その給料支払額は一億二千万ドルで、アメリカの自動車工業の二倍に上ります。そのほか四百万人が直接軍事工業で働いています。多くの都市では軍事生産が全製造業の八〇％に上ります。合衆国の総生産の五〇％以上が軍事消費にささげられています。この巨大な軍事組織は、前掲アイゼンハワー大統領や國務省顧問及びニューヨークタイムスの記述中に、きわめて明瞭に述べられているところの、あの帝国を防衛するといふ目的だけのために、全世界にわたり三、〇〇〇箇所以上の軍事基地をもつてたたかっております。ベトナムからドミニカ共和国まで、中東からコンゴまで、軍事工業と軍自体につながる少数の巨大な会社の経済的利益が、アメリカ人の生活に何が起るかを決定しているのです。合衆国が侵入し、飢えに瀕して助けのない人々を抑圧しているのは、彼らがこの命令によっているのです。

しかしながら、合衆国の膨大な富にもかかわらず、また世界人口の僅か六％が世界の資源の三分の二近いものを保有しているにもかかわらず、また世界の石油、コバルト、タングステン、鉄鉱石、ゴムその他の重要資源を支配しているにもかかわらず、さらにまた世界の人々の大量な饑餓の犠牲において少数のアメリカの会社が何千万ドルという金を儲けているのかかわらず、これらすべての事実にもかかわらず、六、六〇〇万人のアメリカ人は貧困のうちに生活しています。アメリカの諸都市はスラムでおおわれています。負し人々は税金の重荷と、植民的侵略戦争の重荷を背負わされております。

私はあなたの方のすべてに対して、あなた方の日常生活に起っている出来ごとについて知的に関連づけるよう要望します。また合衆国を支配してきており、その従来の制度的な生活を、世界的帝国のためにグロテスクな兵器庫に変形させているしくみについて、はっきりと見きわめるよう要望します。三大陸の人民にとって、彼らの生活の主要な敵であり、その不幸と飢えの元兇とみられているものこそ、この巨大な軍事機構であり、巨大な産業結合であり、その情報機関であります。もしわれわれがアメリカの軍事的力に依存して存在を保っている政府を検討してみるなら、われわれはいつでも、資産家、地主及び大資本家を支持する政権を発見するでしょう。これはブラジル、ペルー、ベネズエラ、タイ、南朝鮮、日本においてそうであるし、全世界にわたってそうであります。

このような結果として、例えばベトナム人民の歴史的大蜂起のような民族革命を抑圧するために、合衆国はかつて日本が東南アジアで、またナチスがヨーロッパで行なったと同様な行動をとらなければならなくなっています。このことは文字通りに真実です。私が前に指摘したところの、南ベトナムの農村人口の六〇%近くを収容している強制収容所は、拷問、虐殺と大量埋葬の場所になっています。ガスや化学薬品及びジェリイ・ガソリンのような特殊試験的に皆殺しにしたのに、合衆国はベトナムではまだこれと比較できるようなことはしていません。しかしながら、ユダヤ人の皆殺しは例外として、ドイツ人が東ヨーロッパで行なったすべてのことが、ベトナムでは合衆国によって、より大きな規模で、か

つより恐るべく、完全な能率性をもって繰返されております。

大統領によって署名せられ、アメリカ合衆国議会で批准せられた厳肅な国際諸協定をじゆうりんして、このジョンソン政府は戦争犯罪——ヒューマニティに対する犯罪であり平和に対する犯罪です——を犯しました。これらの犯罪が遂行されたのは、ジョンソン政府が、合衆国の産業貴族たちによる、また彼らの軍事的手段による、被支配人民に対する経済的搾取と武力的支配を維持するために存在しているからであります。

合衆国の全外交活動の予算よりも一五倍も多い予算をもつCIAは、政府首脳の暗殺に関与しており、また独立な政府に対する陰謀を企てております。この邪悪な活動は、アメリカによる経済的、政治的支配のための締めつけから、自らを解放しようとしてたたかっている人民の指導者と組織を破壊するために計画されたものです。合衆国の軍国主義は、今世紀の記憶に残っているかぎりの間、アメリカの人民自身を貧困に陥れてきた略奪的資本主義と不可分のものです。この同じ動機がベトナムにおいて大きなスケールで野蛮残虐な犯罪に導いているのです。

私は全世界の知識人や、すべての優れた独立人に対して、合衆国政府のベトナムにおける犯罪について証拠を審理する国際的戦争犯罪法廷に参加するよう呼びかけました。

あなた方はドイツ人がもし彼らの政府の犯罪を黙認し受入れたのであれば有罪であると考えられたことを思い出しましょう。彼らが自分たちはガス室や強制収容所のことや、拷

問や手足の切斷のことは知ってはいたが、しかしそれをとめることは不可能であつたのだと申し立てても、誰もそれを以て充分な弁解になるとは思いませんでした。

私はあなたの方に対して、人間として人間に訴えます。あなたの方のヒューマニティと自らの自尊心を思い起して下さい。ベトナム人民に対する戦争は野蛮なものです。それは征服のための侵略戦争です。アメリカの独立戦争の際に、誰もアメリカ人に対して彼らの闘争の目的を告げる必要もなく、また彼らの意見に反して彼らを徴兵する必要もありませんでした。またアメリカの兵士たちにとって、一万哩も彼方の他国に行く必要もありませんでした。外国軍隊に対するアメリカの革命戦争において、アメリカ人はボロをまとい、そして占領軍は当時最強であつたけれども、野原や森の中で戦いました。アメリカ人は飢えており貧しかったが、占領者たちと戦いました。一つの家から他の家へと戦いました。

この解放戦争では、アメリカの革命家たちは、テロリストと呼ばれ、その植民地勢力は、彼らに反逆者とか暴徒とかのレッテルをはりました。

アメリカの国民的英雄たちは、ナサン・ヘイルやパトリック・ヘンリーの言葉でこれに答えました。

「われに自由を、しからざれば死を」という感情は彼らの闘争を激しました。それはちやうどそれが合衆国の侵略と占領に対するベトナム人民の抵抗運動を激ましているのと同様です。

この場合ベトナムのナサン・ヘイルやパトリック・ヘンリーは合衆国の軍隊ではありません。一七七六年当時のアメリカ人を奮い起たせたヒロイズムや愛国心、自由と正義への深い信念を播いているのは、今日では民族解放戦線の革命的指導の下にたたかっているベトナムの人民です。そしてアメリカの人民は、ベトナム人民のみならず、合衆国自体の人民を搾取している連中によって大砲の餌食として利用されているのです。

ベトナム人民を殺害し、村々を襲撃し、ガスや化学薬品を使用し、彼らの学校や病院を爆撃しているのは——これらのすべてはアメリカの資本主義の儲けを保護するためです——アメリカ人です。兵士たちを徴兵している連中は、彼ら自身の利益のために軍事的請負契約にサインしている、その同じ連中です。彼らは盗んだ財産を保護するために、会社の警官としてアメリカの兵士たちをベトナムに送っているその同じ連中でもあります。

したがって、自由とデモクラシーのための真の戦いは、合衆国自体の国内にあり、アメリカの社会のさん奪者に対するものであります。

私は、もし合衆国が侵入されて、今日合衆国軍隊と政府がベトナム人民に対して遂行しているような残虐な行為や拷問のまにとされたとしたなら、ちようどベトナム人民がこれに対して反応していると全く同じように、アメリカ人民も反応するだろうことについて一点の疑いもありません。

全世界の人民を奮い起たてているアメリカ人の抗議運動こそ、個人の自由と社会正義に

対するアメリカ人の関心についての、真のスポークスマンであります。自由のための戦場はワシントンにあります。合衆国とその市民の品位をおとした戦争犯罪人——ジョンソン、ラスク、およびマクナマラに対するたたかいの中にあります。まったく、彼らは合衆国をその人民から盗み取り、全世界の人民の鼻先で偉大な国の名を鼻もちならぬものにしてしまいました。これはきびしい真実であり、アメリカ人民の日常生活に対し、抗し難くかつ加速度的に影響を及ぼしつつある事実であります。他の途はありません。戦争犯罪は行なわれていないとか、ガスや化学薬品は存在しないとか、拷問やナパームは使用されなかったとか、ベトナム人はアメリカの兵士やアメリカの爆撃で殺されなかったとかいうようなふりをする余地はありません。

この災厄を検討してそれに反対する勇氣なくしては尊厳はありません。アメリカの危機にとつて、アメリカ人民自らが、彼らの名において発言しそれによって偉大な国民を冒瀆しているこれらの野蛮な人々から解放することなくしては、危機の打開の方法はありません。

しかしながら、アメリカ人民は次第に目覚めつつあり、ベトナム人民がかくも感動的に發揮しているのと同様な決意と勇氣を示しつつあります。ハレムやワットやアメリカ南部での黒人の闘争や、アメリカの学生たちの抵抗、一般アメリカ人大衆によって示されつつある増大する嫌悪感、全人類に対し、貪欲、残忍な連中がアメリカ人民をあざむ

き利用することのできる日が終末に近づいているという希望を与えています。

私のアメリカ人に対するアピールは、合衆国の支配者たちが、アメリカ人民から彼らの支配者の醜惡な顔をおおいかくし、彼らの振舞いについての真実をかくすためのプロパガンダのため手段をおしまないということを十分心得た上でなされております。

アブラハム・リンカーンは、人民が一度目を覚めれば、もはやあざむかれないという希望について述べたことがあります。彼ら自身の体験と彼らの最も近い親戚の体験から、ベトナムで何がなされているかを知っているすべてのアメリカ人は、いま前進すべきです。真実を語りなさい。そして全世界のあなたの方の兄弟たちと共に立ちなさい。アメリカを殺人的生産から解放し、戦争犯罪人から解放し、搾取から解放し、被支配人民の憎惡から解放するためにたたかいなさい。

これらの人々は合衆国の一般の人々に対して、彼らが彼らの苦境を理解し彼らの戦いをアメリカ人の抵抗をもって答えるよう期待しています。それによって合衆国をして再び個人の自由と社会正義のとりでにさせることができるでしょう。国際戦争犯罪法廷はそれじたい共通の途における同盟者であるアメリカ人民の良心に対するアピールであります。

戦争犯罪法廷は現在大急ぎで準備中であります。私はアフリカ、アジア、ラテンアメリカ及び合衆国自体における優れた法律家や文学者や公的事業従事者に連絡をとりつつあります。この戦争によるベトナム人の組織者たちは証拠を提供してくれるでしょう。使用さ

れた化学薬品に関する完全な科学的データや、その固有性や作用が記録せられるでしょう。目撃証人たちは彼らが見たことを陳述し、科学者は法廷が保有する証拠物件を検査するために招かれるでしょう。その手続はテープレコードされ、全証拠が公表されるでしょう。証人や証拠物に関する記録映画がとられるでしょう。

われわれはどんなことがベトナムの人民に対して起ったかについての最も完全な描写を提供することを目的としています。われわれは世界中の人々が、かつてないほどに心を動かされるようにしようとしています。そして、どこであろうとも、このような悲劇が再びくり返されるのを防止することができればなおよいのです。スペインでの出来事と同様に、ベトナムは野蛮なリハーサルです。

この法廷の誠実性や真実性のゆえに、おおいかくさねばならない多くのものをもっている人々からの挑戦があっても、これによって動かされるものではないものとするのがわれわれの意図するところです。

ジョンソン大統領、ディーン・ラスク、ロバート・マクナマラ、ヘンリー・キヤボット、ロツヂ、ウェストモアランド將軍及び彼らの仲間の犯罪人たちが、彼らが考えているよりもより広い正義の前に立たされ、そして彼らが理解する用意があるものよりもより深遠な非難がなされるでしょう。

一九六六年六月一八日

平野義太郎

南ベトナムの「アメリカ帝国主義者とその手先の戦争犯罪を告発する委員会」は、「現代最大の戦争犯罪人」と題する黒書を發表し、ベトナム民主共和国外務省も「北ベトナムにおけるアメリカの戦争犯罪」という書を發表した。日本学術会議も科学者の立場から「科学が、世界平和の確立と人類の文化および福祉の推進のために貢献すべきであるのに、ナパーム弾と併用されている殺草剤その他の化学薬品の軍事的使用が、その本来の目的に反しているから、「農薬の軍事的使用に堪した世界の科学者に訴え」た（六六・四・二二）。また、ドイツ民主共和国の国民軍軍医たちもアメリカの毒ガス使用にたいし、化学的な検討を与えたあとで、その化学戦を非難する声明をだした（六六・四・一九）。

イギリスの科学者であり、哲学者であるバートランド・ラッセルは、アメリカの良心に對するアピールのなかで、「ジョンソン政府は戦争犯罪——ヒューマニティにたいする犯罪であり、平和にたいする犯罪です——を犯しました。これらの犯罪が遂行されたのは、ジョンソン政府が大独占資本家たちによる、またかれらの軍事的手段による、被支配人民にたいする経済的搾取と武力的支配を維持するために存在しているからです」ときびしく糾弾し「国際戦争犯罪法廷」を開き、世界の良心がこれを裁かねばならないことを訴えた。いまこの準備は着々と進行中であり、日本でも「戦争犯罪調査委員会」（ラッセルの提案を支持する）が設けられ活動が開始された（準備会事務所は自由人権協会内）。

ところで南ベトナムの「黒書」がのべているアメリカとナチスとの比較はきわめて重要

全世界の良心は戦争犯罪を 裁かねばならない

である。「ヒトラー一味のファシストは、第二次世界大戦のさい、強制収容所で公然とは毒ガスを使用しなかったが、今日アメリカ侵略者は非武装人民を大量虐殺するために、毒ガスを公然と大規模に標準兵器として使用している」。

アメリカがナチスよりもっと残酷なのは、アメリカのベトナム侵略戦争が、たんに反共、帝国主義の異民族抑圧戦争であるばかりでなく、南ベトナムの新植民地侵略戦争^{（一）}なのである。植民地の人民を犬、猫同然に見なし、しかもこの植民地人民大衆の解放闘争を抑圧するためには、「合衆国は、かつての日本（帝国主義）が（植民地の）東南アジアで行なつたと同様な行動（中国で行なつた三光政策——「奪いつくし、焼きつくし、殺しつくす」をとらねばならなくなっている。」（ラッセル卿の「アメリカの良心に訴える」）からにほかならない。彼らは崩壊する帝国主義体制を支え、世界人民の解放と進歩を抑圧するために、反共を旗じるしとする侵略戦争に全力をかけ、ヒトラー・ファシズムよりも戦争化学の発達（原水爆や毒ガス、ナバーム弾）を利用し、「熟達と残忍さにおいては、アメリカの方が、ヒトラー・ファシストをはるかにしのいでいる」（「黒書」）のである。

アメリカの反共・新植民地侵略戦争に抵抗するベトナム人民の人民闘争は、祖国の独立と統一、民族解放をめざす「祖国戦線」（北ベトナム）、南ベトナム解放「民族戦線」を主体とする、全人民、全民族の生死を賭する闘いである。だから、侵略者の兵器もナチスよりはるかに残酷ではあるけれども、ベトナム人民は、この侵略者を必ず打ち敗かしてしま

う強さもっている。

フランスの旧植民地主義者は、村々の村長まで手なずけたけれども、アメリカの侵略者はただひとにぎりのグエン・カオ・キ軍事独裁者だけを手先きとして駆使することができにすぎず、地方政治の末端を掌握できない弱さをもっている。そのため人民戦争は旧フランス帝国主義者よりも容易にこれを払いのけることができたのである。

だが、それだけにアメリカ帝国主義とベトナム人民との対決は、前代未聞のはげしさ、激烈さのなかに発展してゆくが、世界の人民はベトナム人民に味方していたところで立ってゆく。まさに世界の反動・戦争勢力と民主、平和勢力との天下分け目の関ヶ原の戦いである。毒ガスの使用を禁止したヘーグ陸戦法規（一九〇七年）、無差別爆撃を禁止したヘーグ空戦規則案の軍事目標主義（一九二二年）、さらに毒ガス戦や細菌戦を禁止した「ジュネーブ協議書」（一九二五年）など一連の交戦法規は、人道にもとづく国際法を發展させた。だが、それを支えたものは、ブルジョア民主主義、そして、そのような人道主義であり、帝国主義から抑圧されていた植民地の勤労大衆や世界のプロレタリアートは、国際法の埒外におかれていた。

第二次世界戦争における反共・超軍国主義のファシスト、ヒトラー一味や日本軍国主義者の戦争犯罪を審判したニュールンベルグ国際軍事法廷は、超軍国主義者の残虐な戦争犯罪を罰したけれども、そしてそれは国際法のさらに一段の發展を示したけれども、戦争の原

因である帝国主義そのものを審判することにはならなかった。

第二次世界戦争の過程から、世界は変わった。世界の勤労大衆が平和・民主勢力の中心となり、社会主義が世界体制となり、植民地・従属国の人民が独立し、また解放をめざして立ちあがり、帝国主義体制をゆすぶりだした。新中国の建国（一九四九年）と発展、朝鮮戦争（一九五〇—五四年）にひきつづくベトナム人民のフランス帝国主義への勝利から、民族の基本的権利が、ジュネーブ協定（一九五四年）によって確認された。しかし、アメリカの反共・新植民地侵略戦争は、このベトナム人民の民族的基本的権利をほろぼすために、今まで人類が獲得してきたあらゆる一切の人道的な国際法規をも、じゅうりんしつつある。

国際連合憲章も、世界人権宣言も、この第二次世界戦争後の新しい政治勢力の興起による新興民族の民族的基本的権利を擁護するのに不十分である。ニュールンベルグ国際法廷は、戦争犯罪を審判する新しい国際法の基準を立てたけれども、いまや、ベトナム民族の基本的権利を確立し、アメリカの侵略戦争の戦争犯罪を罰するために、さらに一層発展させねばならない。現代は国際法の人道的、民主的、民族的条項を支えるものが、世界のすべての勤労大衆である。

南北ベトナムにできた戦争犯罪調査委員会は、このようにニュールンベルグ法廷を、さらに今日の段階にふさわしく新しい発展の上に行なわれる戦争犯罪審判のためのものであり、ラッセルの提唱する「戦争犯罪法廷」もこのような目標をめざすものでなければなら

らない。このような意味において、ベトナム民主共和国の法律家協会・ファン・サン副理事長も公式にラッセルの国際法廷の開催を支持するのである。

要するに、ベトナム問題解決の正しい道はベトナム民主共和国の四つの原則、南ベトナム解放民族戦線の五つの原則を実現することである。

ド・ファン・サン

彼らはいつ罰せられるのだろうか？ この質問は、その子供たちをナパーム弾で焼かれたりあるいは有毒化学薬品や毒ガスで殺された数万人に及ぶベトナムの母親たちがたずねる質問である。この同じ質問は、その息子たちを鉛の棺あるいはもつと散文的だが、メイ・ド・イン・ジャパンと銘打ったナイロン製の袋に入れられて、ベトナムのきたない不法な戦争から送り返されている数万人のアメリカの母親たちもたずねている質問である。

イギリスの哲学者バートランド・ラッセルは、この苦悩にみちた人類が提起した質問に答えて、リンドン・ジョンソン、マクナマラ、ディーン・ラスク及びその一味を裁くために、戦争犯罪の国際法廷を開設することを提案した。

法律的観点からすれば、この発議は現代の国際法と全く合致している。戦争犯罪を処罰することは、ニュールンベルグと東京の国際軍事法廷がヨーロッパにおけるナチスとアジアにおける日本ファシストの犯罪的な投機を処罰して以来、実定法の一つの原則となっている。周知の通りニュールンベルグ法廷のロンドン法令第六条(a)項によれば、侵略戦争あるいは国際条約、国際協定、国際保証を侵犯する戦争は、平和に対する犯罪と考えられている。戦争犯罪はまた、イギリス人判事バーケットが同法廷における歴史的な声明で激しく非難したところであり、彼は、侵略戦争をひきおこすことはただに国際的犯罪であるばかりでなく最高の国際的犯罪であり、この両者の差異は侵略戦争というものは他のすべての戦争犯罪を包含しているからである、とのべた。

アメリカ戦争犯罪人の 刑事責任

アメリカ帝国主義者が一九五四年のジュネーブ協定と国際法の基本的諸原則を侵犯していること、またベトナム人民に侵略戦争をしかけていることは、世界の世論及びアメリカの進んだ世論によってさえ認められているところである。

一九六五年九月二三日上院議員ウエイン・モースはアメリカの上院において次のように述べた。アメリカは南ベトナムにその最初のカイライ政府IIゴー・ディンジェム政府をデタッチあげ、これによつてはじめてジュネーブ協定に違反したが、それ以来公然かつ連続的に国際法の諸原則並びにジュネーブ協定の規定を侵犯してきたと。W・モースは、アメリカは一〇年間にわたつて一九五四年の協定、国連憲章の諸条項さらにはアメリカ憲法の第一章第八条にさえ違反し、これによつて国際関係における法の否認という悲しむべきかつ恥ずべきページを歴史に書きしるしてきたのだ、と強調した。^(注)

(注) アメリカ合衆国議会記録、第八十九議会第一会期の議事並びに討論

アメリカ帝国主義は最高の戦争犯罪すなわちベトナム人民に対する侵略戦争を行なっているばかりでなく、戦争法規、戦争慣習を犯すことによつて数十、数百に及ぶその他の戦争犯罪をも犯したし、今日でも日々に、大規模にこれらの犯罪をくり返している。すなわち一般市民の大量虐殺、財産の掠奪、都市と村落の計画的破壊、有毒化学薬品やナパーム弾、毒ガスなどを含む禁止された兵器の使用などである。

このような贖いがたい戦争犯罪に対して責任を負うべき第一の人々は、ベトナムに対す

る干渉と侵略の政策をたて、またこの戦争を「エスカレート」するよう乱暴な命令を発したアメリカの指導者たちである。次にくるのは、彼らの命令を実行しベトナム人民の血の負債を負うべき執行者たち——アメリカ人であると非アメリカ人であるとを問わず——である。

ニュールンベルグ法廷の法令は、この点に関して全く明白である。その第八条によれば、被告の行動がたとえ彼の属する政府あるいは職階上の上官の命令に従って行なわれたものであっても、彼は責任をまぬがれることはできないのである。

この条項を適用して、ニュールンベルグ法廷は次のような適切な解釈を行なった。すなわち国際戦時法規を犯して殺人あるいは拷問を行なった軍人は、命令に従って行動したと主張することによってその違犯行為を正当化することはできない。大多数の国における刑法によれば、刑事責任の真の基準は命令とは何の関係もなく、精神的自由、被告の選択能力にあるのである。

ベトナムで捕えられたアメリカ人飛行士の場合、彼らの大部分は教育をうけた人間であるから、この点に関しては何らの疑いもない。彼らは、アメリカ政府が「これを妨害するために脅迫あるいは力の使用を慎しむ」ことを保証した一九五四年のジュネーブ協定を犯して不正義の戦争、侵略戦争に参加したのであって、これを彼らが知らなかったということとはありえない。彼らはまた、彼らが学校、病院、市場、水利施設を攻撃したという事実

を否認することもできない。飛行士ドートレイ（ミ）は、一九六五年一〇月九日国際民法律家協会の代表団に対して、軍事目標を非軍事目標から見わけることは機上から安全に可能であった、と認めた。

（注）一九三三年十月五日テキサス州イーグル・パス生れ。アメリカ空軍大尉で教官。タイ国のコラットに基地をおく戦術戦闘機隊所屬。

懷疑論者はあるいはバートランド・ラッセルの發議に反対して次のようにいうかもしれない。結局のところ戦争犯罪のための彼の法廷なるものは、意見をのべる法廷にすぎず、その判決は実行されないであろう、と。しかしながら、この法廷を開くことによって、アメリカ人民を含む世界人民の前に、アメリカの現指導層の戦争犯罪が明白に暴露され、彼らが世論を欺くあらゆる機会がうばわれるであろう。従って彼らは人を損う彼らの手段の有力な部分を失うことになるであろう。

ベトナムで捕えられたアメリカ人飛行士たちが、ベトナム法廷の裁判権内にあることは疑問の余地がない。犯罪の被害者となった国の裁判上の資格は、ニュールンベルグ法廷の法令並びに大量虐殺に関する一九四八年一月九日の国際協定によって認められた。他方アメリカ人飛行士たちは、捕虜に関する一九四九年八月一二日のジュネーブ協定の適用をうける権利がない。なぜなら彼らは捕虜ではなく実際に犯罪人であるからである。前記国

際協定をしっかりと守りながら、ベトナム民主共和国政府は一九五七年六月五日の書簡の中で、ニュールンベルグ国際法廷の諸原則に従って戦争犯罪並びに人類に対する犯罪として公判に附され有罪と宣告された敵国人は、ジュネーブ約定第八五条の規定を享受することとはできない旨を、はっきりと保留したのである。

一九六一年にニンビン上空でスパイ機C 47が撃墜されたあとで捕えられたカイライ・サイゴン政府のスパイ、電撃隊将校、下士官たちは、ベトナム民主共和国中央軍事法廷の公判に附され、ベトナム民主共和国の安全に対する罪を定めた一九五四年一月二〇日の第一四四号法令によって有罪を宣告された。この事件は、捕えられたアメリカ人飛行士たちの事件に対する著しい類似をなすものである。アメリカ人飛行士たちは同じ法令によって公判に附されるべきだと、われわれは敢えて主張しなければならない。この法令は十年以上終身刑及び死刑に至る刑罰を含んでいる。

(ベトナム法律家協会副書記長)

戦争犯罪法廷に関する

討議のための提案

ラルフ・ヒューマン

前文

ナチの残虐この方、世界が、巨大な軍事力の犠牲となつた人民に対して示されたひどい残虐性によって、こんなにも憤激させられたことはなかった。合衆国による化学薬品やガスや拷問の使用に反対する、全世界にわたるデモンストレーションは、いまや、あらゆる証拠について審理し、これらの犯罪について決定的な告発を提示するための、適当に構成せられた国際法廷への要望になりつつある。

この仕事を遂行するための戦争犯罪法廷は、この野蛮行為に対して責任のある人々を暴露するために恒常的な役割を果たすであろう。アメリカ帝国主義は、そのベトナム人民に対する侵略戦争が、最もドラマチックな方法で暴露されるのを見るであろう。どこであろうとも、人民が圧迫と搾取に対し抵抗している所にはこれらの犯罪を適用しようとするこの計画は、よりよく理解せられるようになり、その結果より効果的に抵抗されるようになるであろう。

戦争犯罪法廷 War Crimes Tribunal は若干の戦術的原則

によって導かれねばならない。

- 1 その構成は、北米及び西ヨーロッパの与論に影響を及ぼすことができるように、幅広い層から選ばるべきである。
- 2 その構成は幅広いものであつても、そのためにこの法廷の主たる目的である、合衆国のベトナム人民に対する侵略戦争の野蛮な性格を決定的にあげき出すという目的を譲歩するものであつてはならない。合衆国、西ヨーロッパ、アフリカ、アジア及びラテンアメリカの外表からなる準備委員会が設置せらるべきである。

準備委 員 会 できる限り早い機会に二五名からなる準備委員会が作られるべきである。この準備委員会の責任は、

財務委員会、公報委員会及び戦争犯罪法廷の運営委員会を作り出すことにある。この準備委員会にはアメリカ黒人の闘争の指導的スボークスマンが代表として選ばれることが望ましい。戦争犯罪法廷に黒人の指導者が積極的に参加することは、アメリカ人民のアメリカ帝国主義への抵抗にとってきわめて大きな重要性をもつてあろう。S・N・C・Cの三人の代表

者——ジェイムス・フォアマン、ジュリアン・ボンド、ジョン・レウイス——は、そのような法廷に参加することを原則的に賛成した。この準備委員会の第一回の会合はバリーで開かれるよう示唆する。さらに戦争犯罪法廷は、準備委員会の第一回会合の時から六ヶ月間に予定されるよう示唆する。

法廷の機構

法廷は十二名によって構成されることが望ましい。この十二名は著名な人物や法律家を含むべきである。準備委員会はそのリストを考慮しなければならぬ。そのうちの多くの人々については、バートランド・ラッセルによって、彼らが原則的にそのような法廷に奉仕する意向があるかどうかについて打診されるであろう。

法廷はバートランド・ラッセルやジャン・ポール・サルトルやフランソワ・モリヤクのような人々で構成される一つの小人数の招集グループによって招集されることが望ましい。法廷の裁判官たちは、あらゆる証言を聴き、その後で証拠に関する報告書を作成することが望ましい。法廷に出頭するのは、合衆国政府とベトナムにおけるその従属者たちによって犯された戦争犯罪に関する証拠を提供し得る南北ベトナムの犠牲者たち、証人、ジャーナリスト、学者、科学者を含むべきである。

すべての手続はテープレコードされ、エミール・ド・アントニオ——これはバートランド・ラッセル平和財団の理事で

あり、その記録映画によって著名なアメリカ人である——によって記録映画が作成されるべきである。

財務委員会は予算を作成し、その支持のため全世界に向けてアピール——招集者グループによって署名せられる——を開始する。公報委員会は来るべき戦争犯罪法廷に関する印刷物を作成しかつ全世界の報道機関との連絡をとるべきである。

法廷は十二週間にわたって開廷され、約二〇〇名の証人の証言を聴き、また写真やベトナムで使用された化学薬品やガスの分析を含む証拠物を検証する。

裁判地は、もし可能ならフランスであることが望ましい。フランスはすべての参加者にとってビザ（旅券査照）が一番得られ易い西ヨーロッパの国であるから、法廷をフランスで開くことができない場合は、スエーデンとフィンランドで開くべきであろう。

あらゆる証拠を配置する責任のある検察官の役割は、アメリカの弁護士マーク・レーンがよいであろう。

法廷は若干の代理者を任命する。代理者は法廷に出頭できない証人から供述書や証言をとり、そのような証拠を法廷の考慮に供するため用意する権限をもつ。法廷自体のために仕事をすることこれらの代理者たちは、法廷構成員でその著名のゆえに審理期間の全部を通じて休みなしに参加することが困難な人々のため必要な仕事の量を軽減させるであろう。

